



横浜市立釜利谷東小学校 夏休み号

学校便り

平成30年7月20日

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間



夏休みの思い出

副校長 佐藤 朋実

この度の西日本の豪雨では、河川の氾濫や土砂崩れなどにより多くの死傷者がでるなど甚大な被害が生じております。本校は浸水想定区域にあり、学区に土砂災害警戒区域も含まれており、他人事ではない思いでニュースに見入っていました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、子どもたちは明日から37日間の夏休みです。この長い休みをどのように過ごそうか、わくわくしている子も多いのではないのでしょうか。「〇年生の夏休みには～をしたね。」などと、大きくなってからも話に出るような思い出ができるように願っています。

私の夏休みの思い出の中から一つご紹介したいと思います。5年生の時、友だちの家で飼われていた陸ガメを3週間ほど預かることになりました。それまで、お祭りの縁日で見かける小さなミドリガメや男子が池で捕ったと学校に持ってきたカメくらいしか知らず、「カメは水の中の生き物」と思っていました。家にやってきた陸ガメは、見たことがないくらい大きく（後日そっと測ってみた甲羅の大きさは縦30cm高さ15センチほどありました）、あまり濡らしてはいけないとも聞いてびっくりしました。当然、自由研究は「陸ガメの観察」。とは言っても、足には硬そうな爪があり、口は丸のままのトマトやキュウリをかぶりついて食べるくらい先が鋭く、怖くてあまり触ることができませんでした。歩く様子やえさを食べる様子、体や甲羅の模様など見てわかること、手持ちの百科事典（残念ながらインターネットなどまだない時代です）に少し出ていた記事などをまとめた程度の研究にもならない自由研究でしたが、観察のためにじっくり見ていると、ベランダをゆっくりと歩いたり、トマトなどを時々かぶりつき損ねたりしながら丸々一つ食べつくしたりする様はどこか愛嬌があり、だんだんと親しみが湧いてきました。今でもテレビなどで大きな陸ガメの映像が流れると、「〇〇（飼われていた家で付けていた名前がありました）みたいだね。」と話すくらい、家族のひと夏の思い出になっています。夏休みは、家庭や地域で過ごす時間が多くなり、いつもと違う時間が過ごせます。お祭りや盆踊りなど、地域の方々ともたくさん交流ができます。身近なところにも長く残る思い出のタネが見つかることでしょう。夏ならではの、長い休みならではの思い出をたくさんつくってほしいと思います。

今年の夏も厳しい暑さとなりそうです。規則正しい生活を心がけ、水分をこまめに取り体調管理に十分気をつけてほしいと思います。また、自転車の乗り方や遊びに行くときの約束など、安全に過ごすためのルールもご確認ください。そして、休み明けの8月27日には全校そろって、楽しい夏休みの話が聞けることを楽しみにしています。

校庭の遊具の使用について

7月23・24日に、校庭の複合遊具の周りに芝生を張ります。養生のため、夏季休業中は複合遊具の周りに立ち入ることができません。遊具で遊ぶこともできませんので、ご承知おきください。

学校予算について

学校予算についてのお知らせを配布いたしました。学校ホームページにも掲載していますのでご覧ください。